

「楽しく学ぶ電子掛地図ソフト」の紹介 オーバーレイ機能で、要素を単純化して読み取ろう —都道府県学習での活用—

帝国書院編集部

はじめに

本誌前号では「日本編」を使った地図学習について紹介しましたが、今号では「地方別編」の県別学習機能を使って都道府県学習を進めてみましょう。

地図を使った学習で、子どもたちに抵抗を感じさせるのは、その地図に入っている要素が多すぎるということではないでしょうか。(下図参照)



ここから、必要な要素を読み取っていくのは、かなりたいへんです。たとえば、「東京都の畑はどこに多いだろう」という課題で調べてみましょう。畑のある場所と、地形・河川・道路などが抽出できれば、傾向がつかめそうです。このソフトなら、そうした学習ができます。

オーバーレイ機能を使って

このソフトの最初の画面を見てみましょう。



このように、ほとんど何も無い状態で、地図が表示されます。そこに、先ほどの「畑・地形・河川」

などの要素をオーバーレイ表示してみます。

この機能を使うには、地図の下にある「重ねてみよう」をクリックします。すると、次の画面が表示されるので、必要な要素をクリックします。



すると、下の地図のようになりました。



この地図から東京都の畑の多いところは、河川の近く、山地の近くや台地等であることが読み取れます。同じように、「工場の多いところ」なども、このように地図を単純化することによって、よりわかりやすく読み取れていくでしょう。また、「くわしい地図へ」で、より詳しい地図を表示します。

使えるビジュアル資料や統計



そのほかに、このソフトには、写真資料や統計も盛り込まれています。お互いにリンクもしています。調べ学習等にも活用していただければ幸いです。